

●●● 役員紹介 ●●●

広報委員会 濱田雪江委員長



女性部会会長として12年を経て、平成11年4月より、広報委員長として2年目を迎えられた濱田さんは、緑区鴨居駅前で(株)パストラルを経営しておられます。創立は平成6年4月で区内のビジネスホテルとしての地位を、その経営方針の細やかな心づかい等からも確立しておられるようです。お客様には、家庭に居られるような快適な住空間を演出出来るよう、常備薬や体温計、アイロンに至る家庭の中の必需品を備え置いているそうです。客層も、NEC、松下、日立、ハイテクパークと近在する大手にその信用度を置いての経営手腕は、実直な長男の専務さん共々その行きつくところを知りません。前法人会会長三澤氏の依頼で、広報委員長とな

って初仕事は、如何に解りやすく、親しめて、且つ事業に役立つものにしたい、歴代の広報の良さを継続して、+ なものを、とまずは、広報紙の名称を部員に募ったのでした。たくさんの名称から抽出されて付けられたのが、“みらい”でした。表紙を飾る近郊の駅シリーズも始まりました。何よりも望ましいのは会員の投稿であり、新鮮なアイデアだとおっしゃいます。IT革命と云われ、インターネット時代の到来で、広報紙もその形を代えてくるものかも知れないと話は尽きません。現在息子さん夫婦と2人のお孫さんとの同居、全部で7名のお孫さんとのことです。趣味は、油絵。そして何よりも健康が一番、次に気力と体力で、何事にも真摯に事に当たるといふ信条のまま、ますますの御活躍を期待しております。(広報 小山記)

宅建部会 佐藤文雄部会長



十日市場駅から徒歩1~2分の環状4号線沿いにある緑法人会の宅建部会長である、(株)高久不動産の佐藤文雄社長を訪問してお話を伺いました。佐藤社長は、地元十日市場で生まれ育ち、街の移り変わり、発展と共に現在を迎えていらっしゃる地元の生き字引のようなお方です。

十日市場は、区画整理が始まったと同時に駅ができ、若葉台団地・霧が丘団地をひかえ、また、昭和大学・東洋英和・横浜商科大学等のある静かな落ち着いた住宅・学園都市として県内でも人気の高い所だそうです。確かに、周りには横浜7大緑地の新治・三保・谷戸があり生活環境に恵まれていることを感じました。

宅建部会長は平成11年5月からで、会員研修会勉強会等を行い、まとめ役として頑張っておられます。

そういうこの街で、『和』、『誠実』、『お客様第一』という精神で事業をされています。

お忙しい仕事を離れリフレッシュには、「趣味のつどい」のリーダーとしてハイキング、わらび取りに20人位のお仲間と山形方面へ出かけるそうです。春先が多く、花見がてら出かけるとのこと。もう、いよいよ春、そろそろお出かけの構想をされているのではないのでしょうか。

本当に、十日市場の街の感じと同じように穏やかで余裕のあるお人柄を感じさせていただきました。

(広報 池田記)

青年部 林 正文部会長

林 正文青年部会長プロフィール



1. 青年部会長就任：平成11年4月から
2. 社名：(有) 伯楽
内容：フィールドアスレチック横浜つくし野コース(子供から大人まで自然の中で遊びながら体が鍛えられる施設)の経営
3. 場所：緑区長津田町4191
4. 会への要望(抱負)：
青年部員は、年齢的に自社でも現場で動き回っている年代なので、会活動との両立が大変です。出来るだけ浪費時間を少なくし、充実した活動を目指した

いと思います。

5. 趣味：魚釣り、キャンプ
とにかく自然と戯れるのが一番好きです。
6. 家族構成：妻、長男(小6)、次男(小5)の4人家族です。
7. その他、法人会青年部に入って約15年経ちますが、その間大勢の先輩方に色々とお世話になったり、大勢の部会員と知り合って情報交換したりと楽しくやってきました。これからは、自分よりもっと若い人が多くなってきたので、若い人の感性に刺激を受けて自分の人生に役立てたいと思います。